

AVの基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

1 【HOME】を押して【ソース切替】をタッチする



ソース切替画面が表示されます。

2 切り替えたいソースをタッチする



[iPod] :

iPodの曲を再生します。(→ P.81)

[USB] :

USB 機器のオーディオ/ビデオファイルを再生します。(→ P.82)

[SD] :

SD カードのオーディオ/ビデオファイルを再生します。(→ P.82)

[内蔵メモリ] :

本機の内蔵メモリに録音したデータを再生します。(→ P.90)

[マルチ AV ブラウザ] :

マルチ AV ブラウザソースは、USB 機器、SD カード、内蔵メモリにあるそれぞれの曲またはビデオを表示し、カテゴリーから選択して再生することができます。(→ P.95)

[DISC] :

CD や DVD、オーディオファイルを保存した CD-R などのディスクを再生します。(→ P.97)

[地デジ] :

地上デジタル TV 放送を受信します。(→ P.103)

[FM] :

FM ラジオ放送を受信します。(→ P.107)

[AM] :

AM ラジオ放送を受信します。(→ P.107)

[Bluetooth AUDIO] :

本機に接続した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを再生します。(→ P.148)

[SMART USEN] :

カーナビ連携アプリケーション「SMART USEN」をインストールしたスマートフォンを接続すると本機でチャンネル選択などの操作をすることができます。(→ P.109)

[交通情報] :

交通情報放送を受信します。(→ P.109)

[STANDBY] :

ソースをすべてオフにします。



- DISC ソース以外は機器を接続したり、SD カードを挿入してもソースは自動で切り替わりません。

■ AV 画面からソース切替画面を表示する

AV 画面左上のソース名をタッチするとソース切替画面を表示します。



ソースをオフ (STANDBY) にする

1 ソース切替画面で【STANDBY】をタッチする



- ソースをオンにするには、ソース切替画面でソースを選択します。

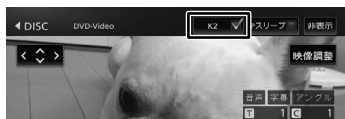
現在地図画面から AV 画面を表示する

1 【現在地 / AV】を押す

K2テクノロジーを使う

各ソースのAV画面に「K2テクノロジー」をオン/オフする [K2] があります。

チェックを付けると、録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生にします。



- アナログソースにおいてもK2テクノロジーのボタンがタッチできるようになっています。より高音質にお楽しみいただけるよう、本機ではすべてのソースで高解像度なデジタル処理をしています。K2テクノロジーをオンにすることにより、本来の音に復元することが可能となります。
- 「K2テクノロジー」は、株式会社 JVCケンウッドと株式会社 JVCケンウッド・ビクターエンタテインメントが共同開発した、音源のデジタル化における高音質化情報処理技術です。時間軸上で変化する波形情報の解析技術などのオリジナルテクノロジーで、音楽制作のプロフェッショナルであるビクタースタジオのエンジニア達の音質評価をクリアし、限りなくオリジナルマスター音源の忠実な再生を目指した技術です。

パッシンジャースリープ機能を使う

助手席や後部座席の搭乗者が眠っているときに使用します。運転席以外の席では搭乗者がうるさく感じない音質にし、運転席では音像バランスを維持できる音になります。

- パッシンジャースリープ機能を使用するには、運転席の位置を130ページの「ハンドル」で設定する必要があります。
- 各ソースのAV画面に「Pスリープ」をオン/オフするボタンがあります。チェックを付けると、パッシンジャースリープ機能がオンになります。



- パッシンジャースリープ機能がオン中は、サウンド設定を変更できません。(→ P.125)

画質を調整する

画面に表示する映像の画質を調整します。

1 調整する映像ソース画面を表示する

2 [映像調整] をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



3 [-] または [+] をタッチして各項目を調整する



コントラスト：

コントラストを調整します。

- [+]：コントラストが強くなります。
- [-]：コントラストが弱くなります。

ブライトネス：

明るさを調整します。

- [+]：明るくなります。
- [-]：暗くなります。

色の濃さ：

色の濃淡を調整します。

- [+]：色が濃くなります。
- [-]：色が淡くなります。

色合い (カメラ映像 / ドライブレコーダー映像のみ)：

色合いを [+] / [-] で調整します。



- 地図画面の画質は調整できません。
- [非表示] をタッチすると、操作ボタンを消すことができます。

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。



- カメラ映像、地デジの映像またはドライブレコーダーの映像は、画面表示サイズの変更はできません。

1 サイズを変更する映像ソース画面を表示する

2 「映像調整」をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



3 「アスペクト」の ◀ または ▶ をタッチして、サイズを調整する



レギュラー：

4:3 の比率で表示します。

フル：

画面いっぱいに表示します。

オリジナル：

映像の比率はそのままに、画面の縦か横いっぱいに表示します。

オート：

16:9 の映像はフルで、4:3 の映像はレギュラーで表示します。

■ 映像サイズイメージ

	16:9 画像	4:3 画像	その他	
レギュラー				
フル				
オリジナル				
オート	4:3 画像はレギュラーに、16:9 画像はフルに自動的に切り替えます。			



- オリジナルはSD、USB、マルチ AV ブラウザソースのみです。
- オートは DVD 再生時のみです。

iPod の曲を再生する

- iPod ソース中にコントロールできるのは音楽再生のみです。ビデオの再生コントロールはできません。
- iPod ソースで iPod を再生するときの接続方法は、USB 接続または Bluetooth 接続です。USB 接続の場合は別売の iPod 接続ケーブル KCA-iP103 で接続します。Bluetooth 接続の場合は Bluetooth の登録を行ってください。(→ P.138)



- iPod 接続ケーブルを接続する USB ケーブルは、本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。

iPod を取り外す

ソースを iPod 以外に切り替えてから、iPod を取り外します。

iPod ソースのまま取り外すと、iPod 内のデータが破損する場合があります。

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを iPod に切り替える (→ P.78)



- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。



- ① 曲名
 ● アルバム名
 ● アーティスト名
 アルバムアート画像
 - ② 再生時間
 - ③ 接続方法
 - ④ シークバー
 - ⑤ ランダム再生モード
 - ⑥ リピート再生モード
 - ⑦ 再生状態
 - ⑧ 再生残り時間
 - ⑨ 曲番号 / 全曲数
- 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジーがオンになります。(→ P.79)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッシブジャースリープ機能がオンになります。(→ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶/	再生または一時停止 (ポーズ) します。
◀◀ / ▶▶	前または次の曲を再生します (スキップ)。タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
[リスト]	再生リストを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

〔表示〕 をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



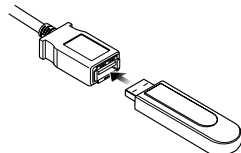
サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の〔閉じる〕でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
〔デバイス切替〕 (Bluetooth 接続時のみ)	Bluetooth 接続のときは、Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
シャッフル	タッチするたびにシャッフル再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> シャッフル OFF : シャッフル再生モードを解除します。 シャッフル ON : リスト内の曲をシャッフル再生します。
リピート	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> リピート OFF : リピート再生モードを解除します。 リピート ALL : リスト内のすべての曲をくり返し再生します。 リピート 1 : 再生中の曲をくり返し再生します。
〔閉じる〕	サブ機能ボタンを消します。

USB 機器 /SD カードのファイルを再生する

USB 機器を接続する



- 本機で再生できる USB 機器は 199 ページをご覧ください。「USB 機器使用上のご注意」もお読みください。
- 本機では USB ケーブルに USB ハブを接続して複数の USB 機器を接続することができます。USB ハブをご使用になる場合は 200 ページの「USB ハブの使用について」を必ずお読みください。
- 複数の USB 機器を接続した場合は、USB の AV 画面で再生する USB 機器を切り替えることができます。(→ P.84、P.86)



- USB ケーブルは本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。

USB 機器を取り外す

ソースを USB 以外に切り替えてから、USB 機器を取り外します。USB ソースのまま取り外すと、USB 機器内のデータが破損する場合があります。

SD カードを入れる / 出す

- 本機で再生できる SD カードは 199 ページの「本機で再生できる SD カード」をご覧ください。「SD カード使用上のご注意」もお読みください。



- フルオープン状態で SD カードを挿入しても、フロントパネルは自動的に閉じません。
- フロントパネルを開いたまま走行しないでください。フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。安全のためフロントパネルを閉じてください。

1 【▲】(オープンキー) を押す

2 [フルオープン] をタッチする

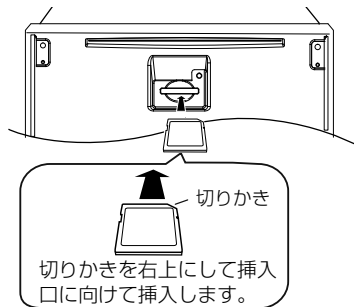


フロントパネルが開きます。

3 SD カードを挿入口に入れる、または出す

入れるときは、SD カードが突き当たるまで奥に差し込んでください。

出すときは SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。



4 音量以外のキーを押してパネルを閉じる

画面の見かたと操作

USB 機器または SD カードに保存されているオーディオファイル / ビデオファイルを再生します。



- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されませんが、スクロールはできません。

ここまでの手順 ▶

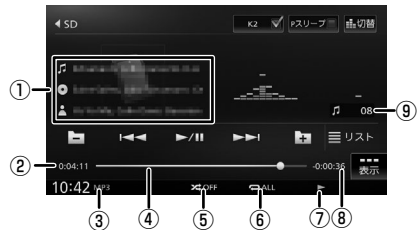
ソースを USB または SD に切り替える (→ P.78)

オーディオファイルの AV 画面

USB



SD



- 1 曲名 (ファイル名)
2 アルバム名 (フォルダ名)
3 アーティスト名
4 アルバムアート画像

- 5 再生時間
- 6 音声形式
- 7 シークバー

- ⑤ ランダム再生モード
- ⑥ リピート再生モード
- ⑦ 再生状態表示
- ⑧ 再生残り時間
- ⑨ ファイル番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジーがオンになります。(→ P.79)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶/	再生または一時停止 (ポーズ) します。
◀◀ / ▶▶	前または次のファイルを再生します (スキップ)。タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
◀ / ▶	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。 ・再生リストについては 86 ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



USB



SD



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替] (USB のみ)	複数の USB 機器を接続しているときに、再生する USB 機器を切り替えます。
[カテゴリー DB 更新]	カテゴリーデータベースを作成、更新します。(→ P.87)
◀	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ OFF : ランダム再生モードを解除します。 ・ フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ) : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 ・ 曲 (カテゴリーデータベース再生のみ) : 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
🔄	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ALL : すべてのファイルをくり返し再生します。 ・ 1 : 再生中のファイルをくり返し再生します。 ・ フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ) : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

ビデオファイルの AV 画面

画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

USB



SD



操作ボタンは一定の時間が過ぎると消えます。
画面右上の [非表示] でも消すことができます。

- ① ファイル名
 フォルダ名
- ② 再生時間
- ③ 映像形式 / 音声形式
- ④ シークバー
- ⑤ ランダム再生モード
- ⑥ リピート再生モード
- ⑦ 再生状態アイコン
- ⑧ 再生残り時間

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジーがオンになります。(→ P.79)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.79)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.79)
	再生または一時停止 (ポーズ) します。
	前または次のファイルを再生しします (スキップ)。 タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。 ・再生リストについては 86 ページをご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

USB



SD



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。
画面の [閉じる] でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替] (USB のみ)	複数の USB 機器を接続しているときに、再生する USB 機器を切り替えます。
[カテゴリ DB 更新]	カテゴリデータベースを作成、更新します。(→ P.87)
	<ul style="list-style-type: none"> OFF : ランダム再生モードを解除します。 フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ) : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 曲 (カテゴリデータベース再生のみ) : 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
	<p>タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ALL : すべてのファイルをくり返し再生します。 1 : 再生中のファイルをくり返し再生します。 フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ) : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

再生リストと再生モードについて

USB ソースおよび SD ソースの再生には以下の再生モードがあります。[リスト] をタッチして再生リストを表示します。モードのリストを切り替えるボタンをタッチするたびにリストが切り替わります。ただし、該当するデータがない場合は切り替わりません。

1 [リスト] をタッチする



2 モードを切り替えるボタンをタッチする



モードを切り替えるボタン

● 再生モード

再生リスト	再生モード
フォルダリスト	パソコンで保存したファイルをそのままの状態再生します。 [トップ]、[一つ上] をタッチするとフォルダが表示されます。
カテゴリリスト	本機でカテゴリデータベースを作成した USB 機器または SD カードをカテゴリから選んで再生します。 [トップ]、[一つ上] をタッチするとアーティスト、アルバムなどのカテゴリが表示されます。
録音データ (SD のみ)	本機で SD カードに録音したデータを再生します。 [トップ]、[一つ上] をタッチするとアーティスト、アルバムなどのカテゴリが表示されます。



- カテゴリデータベースモードは、データベースを作成する必要があります。(→ P.87)
- SD カードに録音された録音データの カテゴリデータベースは自動で作成、更新されます。

カテゴリデータベースから曲またはビデオを再生する

リストから曲またはビデオを再生するときに、アルバム、アーティストなどタグ情報をもとにカテゴリから曲またはビデオを再生できます。

カテゴリデータベースを作成する



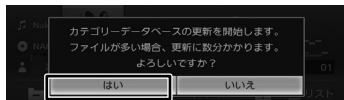
- カテゴリデータベースの作成、更新は、USB 機器、SD カードに入っているファイルの数によっては時間がかかる場合があります。
- カテゴリデータベース作成、更新中は他の操作はできません。
- カテゴリデータベースを更新すると、USB 機器または SD カードに _ContentsDB フォルダが作成されます。_ContentsDB フォルダ内にあるデータをパソコンなどで変更または削除しないでください。正しくファイルが再生できなくなります。
- カテゴリデータベースは最大 15000 曲登録することができます。

1 サブ機能ボタンの [カテゴリ DB 更新] をタッチする



メッセージが表示されます。

2 [はい] をタッチする



カテゴリモードで再生する

1 [リスト] をタッチする



2 フォルダリスト画面の [カテゴリリスト] をタッチする



3 [ビデオリスト] または [ミュージックリスト] を選ぶ



4 再生するファイルを選ぶ



▶ Play :

該当するリストの先頭ファイルから再生されます。

[トップ] : (ミュージックリストのみ)
一番上の階層のリストに移動します。

[一つ上] : (ミュージックリストのみ)
一つ上の階層のリストに移動します。

内蔵メモリ/SDカードに録音する

- 本機では、再生中の音楽 CD を内蔵メモリまたは SD カードに録音できます。
- 録音中は、地デジと録音先のソース、マルチ AV ブラウザは選択することができません。
- 録音中にナビの画面に切り替えても、録音は継続されます。
- 録音中は、画面右下に **REC** と表示されます。



- 録音中に本機の電源をオフにしたり、録音を中断しても、それまでに録音を完了しているデータは保存されています。
 - 本機は SCMS (シリアルコピーマネージメントシステム) に対応しており、デジタル録音された複製ディスク内の曲を内蔵メモリまたは SD カードに録音することはできません。
 - 内蔵メモリまたは SD カードがいっぱいで録音できない場合はメッセージが表示されます。不要なデータを削除してから録音してください。(→ P.94)
 - 録音する音楽 CD のアルバム情報がなければ、次のように名前が付けられます。
 - タイトル名: "Track" + Track 番号 + 年 (西暦) + 月日 + 時刻 (24 時間制)
 - アルバム名: "Album" + 年 (西暦) + 月日 + 時刻 (24 時間制)
 - アーティスト名: "Artist" + 年 (西暦) + 月日 + 時刻 (24 時間制)
- なお、年、月日、時刻は、その音楽 CD が初めて録音されたときの開始時のものです。
- 楽曲情報は本機で編集することができます。(→ P.91)
 - 録音中は、「録音先」、「録音音質」は設定できません。
 - 本機で再生できる SD カードについては、199 ページをご覧ください。

■ 録音可能曲数について

録音可能曲数は、録音品質によって異なります。また可能曲数は目安です。

- 内蔵メモリ：
 - 標準音質 … 約 1000 曲
 - 高音質 … 約 500 曲
 - ロスレス…約 150 曲
- SD カード (8GB の場合)：
 - 標準音質 … 約 2000 曲
 - 高音質 … 約 1000 曲
 - ロスレス…約 300 曲

■ 録音可能アルバム数について

内蔵メモリ、SD カードそれぞれ最大 999 枚録音できます。

録音設定をする

音楽 CD から録音するときの録音音質を設定します。

1 音楽 CD の AV 画面を表示して、サブ機能ボタンの [録音設定] をタッチする



2 設定したい項目をタッチする



■ 録音先

[内蔵メモリ]：内蔵メモリに録音します。
[SD カード]：SD カードに録音します。

■ 録音音質

[標準 (128kbps)]：標準の音質で録音します。
[高音質 (256kbps)]：高音質で録音します。
[ロスレス]：最高音質で録音します。

録音する

音楽 CD を再生しながら、内蔵メモリまたは SD カードに最大約 4 倍速で録音します。



- エンジンを切ったりスタートさせたいときは、録音を中止してください。
- 録音先を SD カードに設定している場合、SD カードが本機に挿入されていないと録音できません。

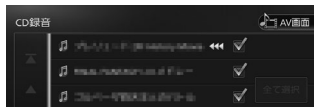
1 ソースを DISC に切り替えて、録音したい音楽 CD を再生する

2 [録音] をタッチする



CD 録音画面が表示されます。

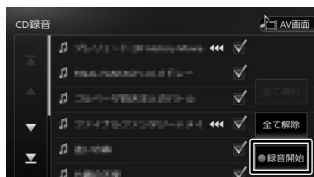
3 録音する曲をタッチする



[全て選択] / [全て解除] :

録音する曲の選択を、すべて選択、解除できます。

4 [録音開始] をタッチする



確認メッセージが表示されます。

5 [はい] をタッチする

録音が始まります。



録音中の画面では、録音の状況を確認できます。また、録音済 / 録音予定の曲数が表示されます。

00/03 :

SD カードに録音中です。

00/03 :

内蔵メモリに録音中です。

[録音停止] :

録音を停止して、ディスクの 1 曲目から再生します。



すべての録音が終了すると、[録音モード終了]が表示されます。[録音モード終了]をタッチして [はい] をタッチすると、ディスクの 1 曲目から再生されます。



手順 3 で、すでに録音されている曲を選択すると、メッセージが表示され、録音データが上書きされます。

録音中に [リスト] をタッチすると、録音状況が次のアイコンで表示されます。

- : 録音済みの曲
- : 録音中の曲 (赤)
- : 録音予定の曲 (エンジン)
- : 録音予定がない曲 (グレー)
- : エラーが発生して録音されなかった曲

録音中はプログレスバーを表示します。シークバーのような操作はできません。

録音したデータを再生する

ソース切替画面で内蔵メモリまたは SD を選択します。



- ジャンルの画像、アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。

ここまでの手順 ▶

ソースを内蔵メモリまたは SD に切り替える (→ P.78)

SD

SD の録音データを再生する場合は、再生モードを「録音データ」にしてください。(→ P.86)



内蔵メモリ



- 曲名 (ファイル名)
- アルバム名 (フォルダ名)
- アーティスト名
- アルバムアート画像
- 再生時間
- シークバー
- ランダム再生モード
- リピート再生モード
- 再生状態表示
- 再生残り時間
- ファイル番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジーがオンになります。(→ P.79)
[Pスリーブ]	チェックを付けるとパッセンジャースリーブ機能がオンになります。(→ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶	再生または一時停止 (ポーズ) します。
◀◀ / ▶▶	前または次のファイルを再生しせず (スキップ)。 タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
[リスト]	再生リストを表示します。 • 再生リストについては 86 ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



SD





内蔵メモリ




サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[タイトル編集]	録音データのタイトルを編集します。
[録音データ削除]	録音データを削除します。
[カテゴリDB更新] (SDのみ)	カテゴリデータベースを作成、更新します。(→ P.87)
[録音データ移動] (内蔵メモリのみ)	内蔵メモリに録音したデータをSDカードに移動します。
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> OFF : ランダム再生モードを解除します。 曲 : 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ALL: 再生中のリスト内のファイルをくり返し再生します。 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

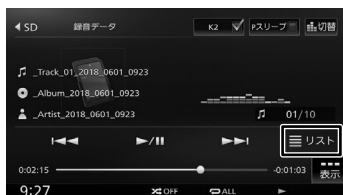
録音データのタイトルを編集する

本機の内蔵メモリまたはSDカードに録音したデータのタイトル(曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル、アルバムアートワーク)を編集します。SDの録音データを再生する場合は、再生モードを「録音データ」にしてください。(→ P.86)

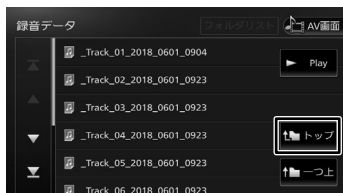
ここまでの手順 

ソースを内蔵メモリまたはSDに切り替える(→ P.78)

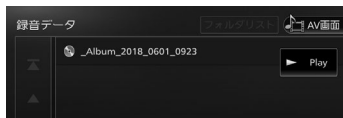
1 [リスト] をタッチする



2 [トップ] をタッチする



3 アルバム名をタッチして編集したい曲が含まれるアルバムを再生する



4 サブ機能ボタンの [タイトル編集] をタッチする



5 編集したい曲をタッチする



6 編集したい項目をタッチする



曲名：

文字入力画面が表示されます。

アルバム名：

文字入力画面が表示されます。
変更したアルバム名は同一アルバム内のすべての曲に反映されます。

アーティスト名：

文字入力画面が表示されます。
編集すると確認メッセージが表示されます。
[はい]：
編集したアーティスト名は同一アルバム内のすべての曲に反映されます。
[いいえ]：
編集している曲のみに反映されます。

ジャンル：

リストから選択します。
選択すると確認メッセージが表示されます。
[はい]：
選択したジャンルは同一アルバム内のすべての曲に反映されます。
[いいえ]：
編集している曲のみに反映されます。

アルバムアートワーク：

録音データにお好みの画像をアートワークとして表示させることができます。

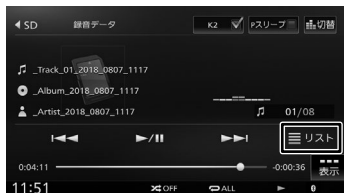


- 入力可能最大文字数は、曲名/アルバム名/アーティスト名とも128文字です。
- 文字入力については24ページをご覧ください。
- 手順5の「別候補タイトル」はカーナビ連携アプリケーション「KENWOOD Music Info」で使います。(→ P.150)

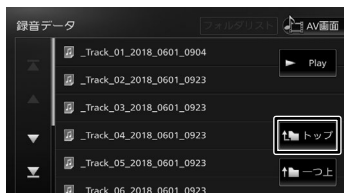
タイトルを消去する

編集したアルバム内すべてのタイトル(曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル)を消去することができます。

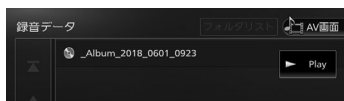
1 [リスト] をタッチする



2 [トップ] をタッチする



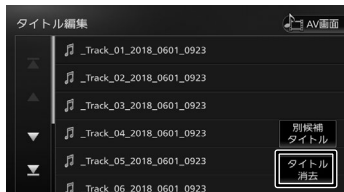
3 アルバム名をタッチしてタイトルを消去したいアルバムの曲を再生する



4 サブ機能ボタンの [タイトル編集] をタッチする



5 [タイトル消去] をタッチする



確認メッセージが表示されます。

[はい]：

現在の曲を含むアルバム内すべてのタイトルを消去します。

[いいえ]：

消去しません。

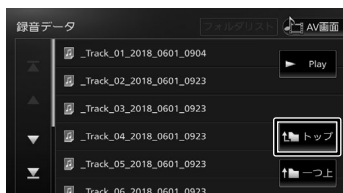
アルバムアートワークとして画像を表示させる

録音データを再生するときアルバム単位で、SDカードまたはUSB機器に保存したお好みの画像ファイル（JPEGまたはPNGのデータサイズ650KB以下）をアートワークとして表示させることができます。

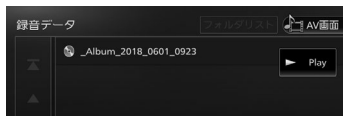
1 [リスト] をタッチする



2 [トップ] をタッチする



3 アートワーク画像を表示させたいアルバム名をタッチしてアルバムの曲を再生する



4 サブ機能ボタンの [タイトル編集] をタッチする



5 [アルバムアートワーク] をタッチする



6 [デバイス切替] をタッチして画像を保存しているデバイスを選択する



7 アートワークにしたい画像を選ぶ



録音データの再生画面でアルバムアートワークが表示されるようになります。

アートワークを削除する

1 「アルバムアートワークとして画像を表示させる」(→ P.93) の手順 5 まで操作する



2 [画像削除] をタッチして、[はい] をタッチする



アートワークが削除されます。

録音データを削除する

本機の内蔵メモリまたはSDカードに録音したデータを削除します。

SDカードの録音データを削除する場合は、事前にSDカードの再生モードを「録音データ」に切り替えておいてください。(→ P.86)

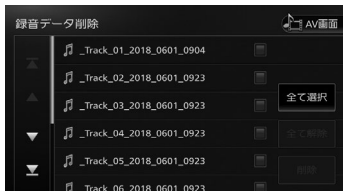
ここまでの手順 ▶

ソースを内蔵メモリまたはSDに切り替える (→ P.78)

1 サブ機能ボタンの【録音データ削除】をタッチする



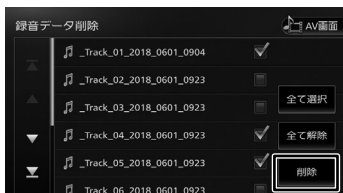
2 削除するデータを選んでタッチする



[全て選択] :
すべての曲を選択します。

[全て解除] :
すべての曲の選択を解除します。

3 【削除】をタッチして、【はい】をタッチする



録音データをSDカードに移動する

内蔵メモリに録音したデータをSDカードに移動します。

再生中の曲を含んだ一つのアルバムデータを移動します。移動したデータは、内蔵メモリから自動的に消去されます。

SDカード内に移動されたデータは、SDカードから再生できます。

ここまでの手順 ▶

ソースを内蔵メモリに切り替える (→ P.78)

1 SDカードに移動したい曲を再生する

2 【録音データ移動】をタッチする



メッセージが表示されます。

3 【はい】をタッチする

録音データの移動が始まります。

[中止] :
SDカードへの移動を中止します。



- ・SDカードに移動したデータは内蔵メモリに戻すことはできません。

マルチ AV ブラウザを使う

画面の見かたと操作

マルチ AV ブラウザソースは、USB 機器、SD カード、内蔵メモリにあるそれぞれの曲またはビデオを表示し、カテゴリーから選択して再生することができます。

USB 機器と SD カードの曲またはビデオを再生するにはカテゴリーデータベースを作成する必要があります。カテゴリーデータベースの作成については 87 ページをご覧ください。



- カテゴリーデータベースを一度も作成していない USB 機器を接続または SD カードを挿入すると、「カテゴリーデータベースがありません。各ソース毎に作成してください。」と表示されます。
- アルバムアートの画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。

ここまでの手順

ソースをマルチ AV ブラウザに切り替える (→ P.78)



- 曲名
アルバム名
アーティスト名
アルバムアート画像
- 再生時間
- 音声形式または映像形式
- シークバー
- ランダム再生モード

- リピート再生モード
- 再生状態
- 再生残り時間
- 曲番号 / 全曲数

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジーがオンになります。(→ P.79)
[P スリープ]	チェックを付けるとパセージャースリープ機能がオンになります。(→ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶	再生または一時停止 (ポーズ) します。
◀◀ / ▶▶	前または次の曲を再生します (スキップ)。 タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
[トップ]	再生中のリストのトップを表示します。
[リスト]	再生中のリストを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能


[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

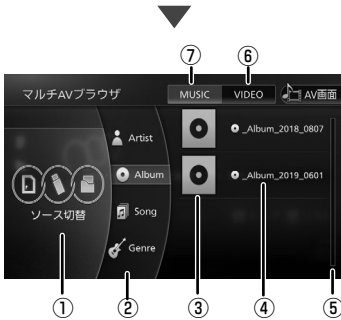
● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
☒	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ☒ OFF : ランダム再生モードを解除します。 ☒ 曲 : 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。

ボタン	説明
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

リストから曲またはビデオを再生する

1 [トップ] または [リスト] をタッチする



① ソース切替:

SD、USB、内蔵メモリをそれぞれタッチするたびに表示するかしないかを選択できます。

② カテゴリー:

アーティスト / アルバム / 楽曲 / ジャンルから選択できます。

③ アルバムアート画像:

情報にアルバムアートがある場合に表示されます。

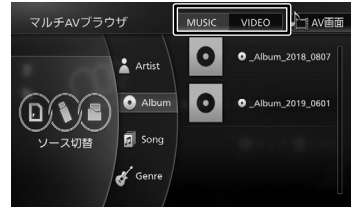
④ 曲またはビデオファイル

⑤ スクロールバー

⑥ ビデオリストに切り替える

⑦ 曲リストに切り替える

2 [MUSIC] または [VIDEO] をタッチする



3 表示するソースを選択する



4 再生したいカテゴリー(①)を選んで、ファイル(②)を選ぶ



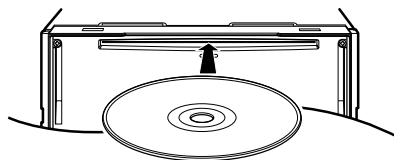
CD・オーディオ ファイルディスクを 再生する

ディスクを入れる / 出す

- 1 【▲】（オープンキー）を押す
- 2 [DISC] をタッチする



- 3 ディスクを挿入口に入れる



フロントパネルが自動的に閉じます。
ソースが「DISC」に切り替わります。



- ディスクを挿入すると、フロントパネルは自動的に設定されている角度に戻ります。
- フロントパネルを開いたまま走行しないでください。フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。安全のためフロントパネルを閉じてください。

ディスクを取り出す

- 1 【▲】（オープンキー）を押す
- 2 [DISC] をタッチする

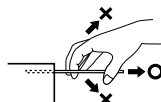


フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

- 3 ディスクを取り出す

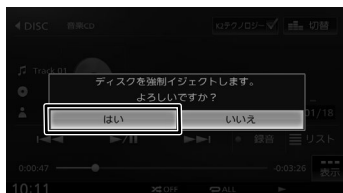


- ディスクが排出された後、ディスクを取り出さないと、約 15 秒後に自動的に引き込まれます。
- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側や上側に強く押しながらかき出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



ディスクを取り出せないときは

- 1 【▲】（オープンキー）を押し続ける
- 2 [はい] をタッチする



フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

- 3 ディスクを取り出す

画面の見かたと操作

音楽 CD またはオーディオファイルディスクを再生します。

ここまでの手順 ▶

ソースを DISC に切り替える (→ P.78)

音楽 CD



オーディオファイルディスク



① ディスクの種類

② 音楽 CD :

♪ トラック番号

オーディオファイルディスク :

♪ 曲名 (ファイル名)

● アルバム名 (フォルダ名)

👤 アーティスト名

アルバムアート画像

③ 演奏時間

④ シークバー

⑤ ランダム再生モード

⑥ リピート再生モード

⑦ 再生状態表示

⑧ 演奏残り時間

⑨ 音楽 CD : トラック番号 / 総曲数

オーディオファイルディスク : ファイル番号

⑩ ファイル形式 (オーディオファイルディスクのみ)

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジーがオンになります。(→ P.79)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッシブジャースリープ機能がオンになります。(→ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶	再生または一時停止 (ポーズ) します。
◀◀ / ▶▶	前または次の曲を再生します (スキップ)。タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
◀ / ▶ (オーディオファイルディスクのみ)	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[録音] (音楽 CD のみ)	現在の音楽 CD を内蔵メモリまたは SD カードに録音します。(→ P.88) [録音停止] をタッチすると、録音を停止します。
[リスト]	再生中の曲またはファイルの再生リストを表示します。 • [トップ] (オーディオファイルディスクのみ) : 一番上の階層のフォルダに移動します。 • [一つ上] (オーディオファイルディスクのみ) : 一つ上の階層のフォルダに移動します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



音楽 CD



オーディオファイルディスク



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の「閉じる」でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[タイトル検索] (音楽 CD のみ)	「KENWOOD Music Info.」で使用します。(→ P.150)
[録音設定] (音楽 CD のみ)	本機の内蔵メモリまたは SD カードに録音するときの設定をします。(→ P.88)
⌘	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ⌘ OFF : ランダム再生モードを解除します。 ⌘ ALL (音楽 CD のみ) : アルバム内の曲をランダム再生します。 ⌘ フォルダ (オーディオファイルディスクのみ) : 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をランダム再生します。
🔄	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> 🔄 ALL : すべての曲をくり返し再生します。 🔄 1 : 再生中の曲をくり返し再生します。 🔄 フォルダ (オーディオファイルディスクのみ) : 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。



- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されませんが、曲名は表示されますが、スクロールはできません。

DVD を再生する

画面の見かたと操作 (DVD ビデオ / DVD-VR)

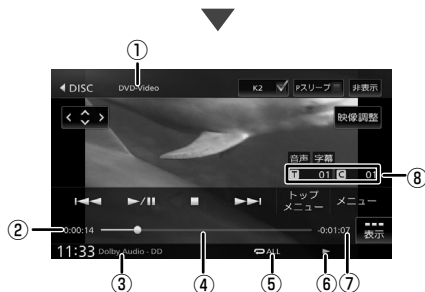
DVD を再生します。ディスクの出し入れについては、97 ページをご覧ください。

ここまでの手順 ▶

ソースを DISC に切り替える (→ P.78)

DVD ビデオを再生する

画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。サブ機能ボタンの「閉じる」をタッチしてサブ機能ボタンを閉じます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の「非表示」でも消すことができます。

- ① ディスクの種類
- ② 再生時間
- ③ 音声形式
- ④ シークバー
- ⑤ リピート再生モード
- ⑥ 再生状態表示
- ⑦ 再生残り時間
- ⑧ タイトル番号 / チャプター番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2 テクノロジーがオンになります。(→ P.79)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッシブジャースリープ機能がオンになります。(→ P.79)
[非表示]	操作ボタンを消します。
< >	カーソルを表示します。(→ P.101)

ボタン	説明
[映像調整]	映像の画質を調整します。 (→ P.79)
▶/	再生または一時停止(ポーズ)します。
■	再生を停止します。 再生中に■をタッチすると停止した場所を記憶して停止します。停止中に■をタッチすると再生位置がディスク先頭に戻り、▶/ をタッチすると先頭から再生されます。
◀◀/▶▶	前または次のチャプターを再生します(スキップ)。 タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)します。
[トップメニュー]	ディスクのトップメニューを表示します。
[メニュー]	ディスクのメニューを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。操作ボタンが表示されているときは[表示]をタッチします。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の[閉じる]でも消すことができます。

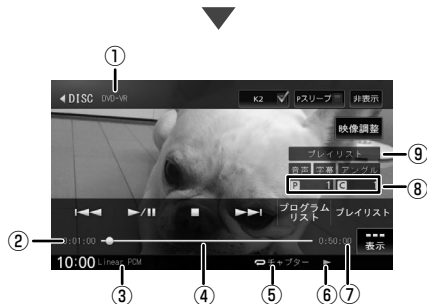
● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[DVD設定]	DVDの設定画面を表示します。 (→ P.102) このボタンをタッチすると、再生中のビデオは停止します。
[音声切替]	音声を切り替えます。
[字幕切替]	字幕を切り替えます。
[アングル]	アングルを切り替えます。

ボタン	説明
↺	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ● ALL: すべてのチャプターをくり返し再生します。 ● チャプター: 再生中のチャプターをくり返し再生します。 ● タイトル: 再生中のタイトルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

DVD-VRを再生する

画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されません。サブ機能ボタンの[閉じる]をタッチしてサブ機能ボタンを閉じます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の[非表示]でも消すことができます。

- ① ディスクの種類
- ② 再生時間
- ③ 音声形式
- ④ シークバー
- ⑤ リピート再生モード
- ⑥ 再生状態表示
- ⑦ 再生残り時間
- ⑧ プログラム番号またはプレイリスト番号 / チャプター番号
- ⑨ 再生リスト

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジーがオンになります。(→ P.79)
[Pスリーブ]	チェックを付けるとパッセンジャースリーブ機能がオンになります。(→ P.79)

ボタン	説明
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。 (→ P.79)
▶/	再生または一時停止 (ポーズ) します。
■	再生を停止します。 再生中に■をタッチすると停止した場所を記憶して停止します。停止中に■をタッチすると再生位置がディスク先頭に戻り、▶/ をタッチすると先頭から再生されます。
◀◀ / ▶▶	前または次のチャプターを再生します (スキップ)。 タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
[プログラムリスト]	プログラムリストを表示します。
[プレイリスト]	プレイリストを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。操作ボタンが表示されているときは [表示] をタッチします。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[DVD 設定]	DVD の設定画面を表示します。 (→ P.102) このボタンをタッチすると、再生中のビデオは停止します。
[音声切替]	音声の種類を切り替えます。
[字幕切替]	字幕の表示 / 非表示を切り替えます。

ボタン	説明
↺	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> ◻ ALL : すべてのチャプターをくり返し再生します。 ◻ チャプター : 再生中のチャプターをくり返し再生します。 ◻ プログラム : 再生中のプログラムをくり返し再生します。 ◻ プレイリスト : 再生中のプレイリストをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

DVD ディスクメニューを操作する

DVD ビデオに収録されているメニュー (ディスクメニュー) を操作します。

カーソルで操作する

- 1 ディスクメニュー表示中に画面をタッチする
- 2 [表示] をタッチする



- 3 ◀ ▶ をタッチする



- 4 各ボタンをタッチして操作する



[非表示] :

操作ボタンを消します。



タッチした方向にメニューのカーソルを移動します。

[リターン] :

ディスクメニューの1階層上の項目を表示します。

[決定] :

選択中の項目を実行します。



- 表示されるディスクメニューおよび操作できる項目は、DVDによって異なります。

ディスクメニューを直接操作する

ディスクメニューを表示しているときは、ディスクメニューの項目に直接タッチして操作できます。



DVDの設定をする

DVDに関する設定を行います。操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

1 サブ機能ボタンの [DVD 設定] をタッチする



2 各項目を設定する

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
メニュー言語	DVDビデオのメニュー/トップメニューの表示優先言語を設定します。
音声言語	DVDビデオの音声出力の優先言語を設定します。

項目	説明
字幕言語	DVDビデオの字幕表示の優先言語を設定します。
ダイナミックレンジコントロール	DVD音声のダイナミックレンジを設定します。ワイド>ノーマル>ダイアログの順にダイナミックレンジは狭くなりますが、映画のセリフなどは明確に聞き取れるようになります。



- 設定した優先言語が再生するDVDに収録されていない場合は、収録されている言語になります。
- ディスクによっては、設定した優先言語に変わらない場合があります。

地デジを視聴する

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを地デジに切り替える (→ P.78)

画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の「非表示」でも消すことができます。

- ① チャンネル番号
- ② プリセットモード
- ③ サービスのロゴ
- ④ プリセット番号
- ⑤ 放送時間
- ⑥ 受信モード
- ⑦ 音声の種類
複数の音声 / 二重音声があるときに出力している音声の番号が表示されます。
- ⑧ 字幕の種類
字幕を選択しているときに表示されます。
- ⑨ 映像の種類
複数の映像があるときに視聴中の映像の番号が表示されます。
- ⑩ 電波の強さ
- ⑪ 番組名
- ⑫ 受信している放送局名またはサービス名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けると音声聞き取りやすくなります。
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジーがオンになります。(→ P.79)
[Pスリーブ]	チェックを付けるとパッセージスリープ機能がオンになります。(→ P.79)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.79)
[受信モード切替]	受信モードを切り替えます。 自動: 自動受信モード (1Seg または 12Seg) に切り替えます。 固定 12Seg: 12セグ固定モードに切り替えます。 固定 1Seg: ワンセグ固定モードに切り替えます。
[音声切替]	視聴番組に複数の音声 / 二重音声があるときに、音声を切り替えます。なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
[字幕切替]	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。 なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
[映像切替]	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
[地デジ設定]	地デジ設定画面を表示します。(→ P.106)
[1] ~ [12] (プリセットチャンネルボタン)	プリセットされている放送局に切り替えます。 視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびにサービスが切り替わります。
◀◀ / ▶▶	前または次のプリセット局を選択します。
[プリセット一覧]	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。 視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびにサービスが切り替わります。
[番組表]	番組表を表示します。(→ P.105)

ボタン	説明
[プリセット切替]	プリセットモード（エリア／ホーム／お出かけ）が切り替わります。「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。「ホーム」または「お出かけ」を初めてご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。（→ P.104）
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。



- 12セグとワンセグの切り替え時に、放送によっては音量が変わったり、映像／音声のつながりが途切れる場合があります。
- 放送局によっては、12セグとワンセグで番組が異なる場合があります。
- 本機は5.1chサラウンドには対応しておりません。音声は2chで出力されます。

プリセットモードを切り替える

プリセットには、「エリア」、「ホーム」、「お出かけ」の3つのモードがあります。

■ エリア

エリアでは自車の移動先の地域のものに自動的に切り替わります。移動中に放送局を手早く選択するときに便利です。

■ ホーム／お出かけ

ホームとお出かけは、それぞれにプリセットが登録できます。自宅周辺ではホーム、ドライブ先ではお出かけと使い分けると便利です。

1 [プリセット切替] をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



タッチするたびに、エリア→ホーム→お出かけ→エリアの順に切り替わります。

放送局を登録（プリセット）する

初めてご使用になる場合は、ホームまたはお出かけには放送局が登録されていないため、初期スキャンを行ってください。

放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットボタンに放送局を登録します。

1 [プリセット切替] をタッチして、「ホーム」または「お出かけ」に切り替える

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



2 [プリセット一覧] をタッチする



3 [初期スキャン] をタッチする



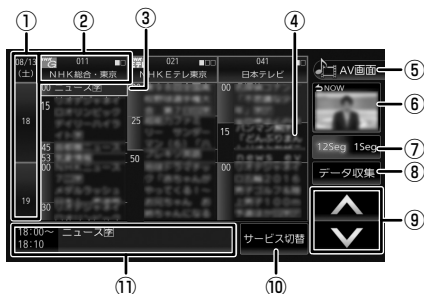
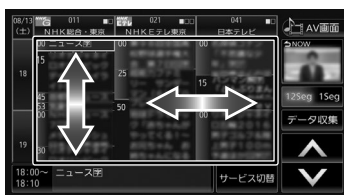
4 現在地の都道府県をタッチして [はい] をタッチする



受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。

番組表の見かたと操作

番組表はフリックまたはドラッグすることで、上下左右にスクロールできます。



- ① **日時：**
タッチすると、表示する番組表の日付を選択できます。
- ② **放送局：**
タッチするとその放送局を受信します。
- ③ **フォーカス：**
緑色の枠で表示されます。
- ④ **現在視聴中の番組：**
背景が青色で表示されます。
- ⑤ **[AV 画面]：**
番組表を消して、AV 画面に戻ります。
- ⑥ **視聴中番組：**
タッチすると現在視聴している番組にフォーカスを移動します。
- ⑦ **12Seg 15Seg：**
タッチすると 12 セグ番組表とワンセグ番組表を切り替えます。
- ⑧ **[データ収集]：**
プリセットされている放送局の現在時刻から 24 時間先までの番組表データを収集します。
- ⑨ **▲ / ▼：**
フォーカスを移動します。
- ⑩ **[サービス切替]：**
マルチ編成番組 (1 つのチャンネルで 2 番組を同時に放送すること) の場合はタッチすると番組表内の番組情報を別サービスに切り替えます。



- [再スキャン] は初期スキャンを行った後で、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- 再スキャンを行った後も、すでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

番組表を見る

最大 8 日分の番組表を表示できます。また、表示した番組表から放送局を選局することもできます。

1 [番組表] をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。



番組表が表示されます。



- すでに放送時間がすぎた番組の番組表は表示できません。
- 番組表データは、電源をオフにしてオンにすると消去されます。
- 受信したチャンネルは番組表データを自動で収集し表示します。受信していないチャンネルの番組表を表示したいときは [データ収集] をタッチしてデータを取得してください。
- ワンセグ番組表では、最大 10 番組まで表示されます。
- 受信していないサービスの箇所は空欄になります。受信すると表示されます。
- サービスの選局直後は、番組表から選局できない場合があります。

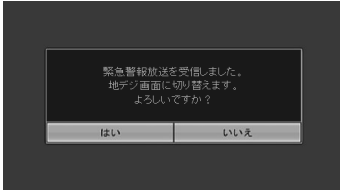
⑪ 番組詳細：

フォーカスされている番組の情報を表示します。タッチすると、番組の詳細情報が表示されます。

緊急警報放送を表示する

緊急警報放送を受信すると、自動的に緊急警報放送に切り替わります。

地図画面などが表示されているときに緊急警報放送を受信すると、メッセージが表示されます。



【はい】：

緊急警報放送に切り替わります。



- 緊急警報放送は、AVソースが地デジのときのみ表示されます。

中継局 / 系列局をサーチする

受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局 / 系列局を探して切り替えることができます（中継局サーチ）。

中継局 / 系列局の自動切り替え条件は、「地デジ設定」の「中継局 / 系列局サーチ」で設定できます。「中継局 / 系列局サーチ」を「自動切替（中継局）」に設定している場合は、中継局のみがサーチされます。



- 系列局に切り替わった場合、元のサービスと番組が異なる場合があります。
- 受信条件によっては、サーチに数分以上かかる場合があります。
- 系列局のない放送局の場合は、中継局のみがサーチされます。

地デジの設定をする

地デジの設定を変更します。

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

1 [地デジ設定] をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
1Seg/12Seg 自動切替設定	推奨 * / 12Seg を優先 / 切替頻度を低減	受信モードを [自動] に設定している場合に、優先させる切替条件を設定します。
中継局 / 系列局サーチ	自動切替しない / 自動切替（中継局） / 自動切替（中継局 + 系列局）*	中継局サーチ時の切り替え方法を設定します。
文字スーパー	表示しない / 第一言語 * / 第二言語 /	表示する文字スーパーを設定します。
デバイス ID	受信識別情報が表示されます。この情報は、受信不具合時のお問い合わせ時に必要になることがあります。	
番組表文字サイズ	小 / 中 * / 大	番組表の文字のサイズを選ぶことができます。

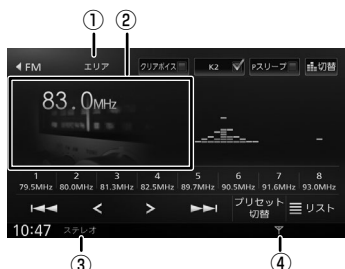
*：お買い上げ時の設定です。

AMまたはFMを聴く

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースをAMまたはFMに切り替える (→ P.78)



- ① プリセットモード
 - ② プリセット番号 / 周波数 / 受信中の放送局名
 - ③ ステレオ受信表示
 - ④ 電波の強さ
- 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けると音声聞き取りやすくなります。
[K2]	チェックを付けたらK2テクノロジーがオンになります。(→ P.79)
[Pスリープ]	チェックを付けたらパッセージスリープ機能がオンになります。(→ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[1] ~ [8] (プリセットボタン)	プリセットされている放送局を受信します。
◀ / ▶	放送局を選択します。 タッチするたびに、1ステップずつ周波数を変えて選局します(マニュアル選局)。 タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。
◀◀ / ▶▶	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します(オート選局)。

ボタン	説明
[プリセット切替]	プリセットモード(エリア/お気に入り1/お気に入り2)を切り替えます。(→ P.107)
[リスト]	プリセットモードが「エリア」のときに、登録データから取得した放送局をリストで表示します。(→ P.108)

プリセットモードを切り替える

放送局のプリセットモードには、「エリアモード」と「お気に入りモード」があります。

■ エリアモード

本機の登録データに基づいて、現地周辺の放送局が表示されます。

エリアモードのプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局(コミュニティFM局を除く)が周波数の低い順に最大8局まで自動的に登録されます。

エリアモードで選択できる放送局は、[リスト]をタッチすると表示できます。(→ P.108)

■ お気に入りモード

手動でお好みの放送局をお気に入り1またはお気に入り2にそれぞれ8局まで登録できます。

(→ P.108)

1 [プリセット切替] をタッチする



タッチするたびに、エリア→お気に入り1→お気に入り2→エリアの順で切り替わります。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オプション

付録

エリアモードの放送局をリストから選局する


エリアモード時のプリセット放送局リストから、受信する放送局を選択します。

- 1 **「プリセット切替」** をタッチして、エリアモードに切り替える
- 2 **「リスト」** をタッチする



- 3 **受信する放送局をタッチする**

1 ~ 8 : プリセットボタンにプリセットされている放送局

 : コミュニティ FM 局



・「コミュニティ FM 局」とは、市町村や政令指定都市の行政区内の一部地域を放送対象とする放送の形態です。

放送局を登録（プリセット）する

お気に入りモードのプリセットボタンに手動で放送局を登録（プリセット）します。

- 1 **登録する放送局を受信する**
マニュアル選局またはオート選局などで、登録する放送局を受信します。(→ P.107)
- 2 **「プリセット切替」** をタッチして、「お気に入り 1」または「お気に入り 2」に切り替える



- 3 **登録先のプリセットボタンを 2 秒以上タッチし続ける**



受信中の放送局がプリセットボタンに登録されます。

登録した放送局は、お気に入りモード（1 または 2）で該当するプリセットボタンをタッチすると受信できます。

交通情報を受信する

交通情報（1620kHzまたは1629kHz）を受信します。交通情報に切り替えると、受信状態が良好のほうが自動的に受信されます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを交通情報に切り替える（→ P.78）



① 周波数

② 電波の強さ

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けると音声聞き取りやすくなります。
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジーがオンになります。（→ P.79）
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッシブジャースリープ機能がオンになります。（→ P.79）
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[1620kHz] / [1629kHz]	受信周波数を1620kHzまたは1629kHzに手動で切り替えます。



.....
 ● 交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。

「SMART USEN」を使う

「SMART USEN」は、株式会社 U-NEXT が提供するラジオ型の定額制音楽配信サービス（アプリケーション）です。

「SMART USEN」を利用するには iOS または Android 用スマートフォンアプリケーションが必要です。

「SMART USEN」についてはホームページをご覧ください。 <https://smart.usen.com/>

準備する

1 App Store または Google Play から「SMART USEN」をスマートフォンにインストールする

本機とスマートフォンを接続する

1 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

■ iPhone を接続する場合

本機の USB ケーブルに接続します。接続ケーブルは別売の iPod 接続ケーブル KCA-iP103 を使用します。また、Bluetooth で接続することもできます。Bluetooth 接続には登録が必要です。138 ページをご覧ください。

■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。（→ P.138）

2 「SMART USEN」を起動する



- 「SMART USEN」を起動して本機に接続しているときは、スマートフォンでの操作はできません。
- 「SMART USEN」のすべてのチャンネルを聴くには有料サービス契約が必要です。
- 「SMART USEN」ご利用時の通信料はお客様のご負担となります。
- 通信が不安定な場合は正常に動作しない場合があります。
- 「SMART USEN」を USB ケーブルで接続した iPhone で使用していると、Bluetooth 接続したスマートフォンでは「SMART USEN」を使用できません。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オプション

付録

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを SMART USEN に切り替える (→ P.78)



- 曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。



① CH チャンネル名

🎵 曲名

👤 アーティスト名

🖼️ アルバムアート画像

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けたら K2 テクノロジーがオンになります。(→ P.79)
[P スリープ]	チェックを付けたらパッセンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.79)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[デバイス切替] (Bluetooth 接続時のみ)	Bluetooth 接続のときは、Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
🔇 / 🔊	🔇 をタッチすると消音します。 🔊 をタッチすると元の音量に戻ります。
[CHANNEL リスト]	聴きたいジャンルやカテゴリからチャンネルを選択します。
[FAVORITE リスト]	お気に入り登録したチャンネルと今まで聴いたことのあるチャンネルをリスト (お気に入りリスト / 履歴リスト) で切り替えて表示します。チャンネルをタッチするとチャンネルが切り替わります。

ボタン	説明
[お気に入り登録]	再生中のチャンネルをお気に入り登録します。
[お気に入り一覧]	お気に入りリストに登録されたチャンネルから最大 99 チャンネルを表示します。タッチするとチャンネルが切り替わります。
[リスト]	再生中の曲、一つ前の曲、再生予定の 5 曲をリストで表示します。このリストからチャンネル選択はできません。

チャンネルを選ぶ

1 [CHANNEL リスト] をタッチする



2 聴きたいジャンル、またはカテゴリ名をタッチする



3 聴きたいチャンネルをタッチする



[トップ]: 一番上の階層のリストに移動します。

[一つ上]: 一つ上の階層のリストに移動します。

[絞り込み]: 絞り込み条件をタッチすると、表示するチャンネルを絞り込みます。

チャンネル名を検索する

1 [CHANNEL リスト] をタッチする



2 [チャンネル名検索] をタッチする



3 検索したいチャンネル名を入力する



- 入力可能最大文字数は、30 文字です。
- 文字入力については 24 ページをご覧ください。

再生中のチャンネルをお気に入りに登録する

再生中のチャンネルをお気に入り登録することができます。

1 [お気に入り登録] をタッチする



「お気に入りチャンネルに追加しました」と表示されチャンネルを登録します。

登録したチャンネルは [FAVORITE リスト] および [お気に入り一覧] から簡単に選択できるようになります。

お気に入りのチャンネルを選ぶ

1 [お気に入り一覧] または [FAVORITE リスト] をタッチする



2 聴きたいチャンネルをタッチする

■ [お気に入り一覧] をタッチしたとき



[前ページ] / [次ページ] :
お気に入り一覧のページを切り替えます。

[一覧を閉じる] :
お気に入り一覧を閉じます。

■ [FAVORITE リスト] をタッチしたとき



[履歴リスト] :

今まで聴いたチャンネルから最大 30 チャンネルのリストを表示します。

[お気に入りリスト] をタッチするとお気に入りリストに戻ります。



- 「お気に入り一覧」、「お気に入りリスト」、「履歴リスト」のチャンネルを本機で削除することはできません。「SMART USEN」アプリケーションで削除してください。